

Ⅲ-①食育のための厨房



子どもが覗き込める窓があり、調理の様子を子どもの目線で見ることができ、子ども達が給食を身近に感じられるようにしています。給食のにおいが園全体に行きわたり子どもたち同士で今日の給食は「何かな〜？」とお話をしています。

Ⅱ-②観覧席にもなる廊下・中庭



中央中庭を見渡せるようにして、中庭で遊ぶ未満児など他の園児の存在に子ども達が気付けるようにしています。また、子ども達がどちらからでも行き来できるようにしています。廊下には回遊性を持たせ、避難もスムーズに行えます。

Ⅱ-③屋上運動場



園庭とは違った遊びができる場所。ボール遊びができるように防球ネットも張り、床面を2色に分けることで、ドッチボール等のチーム戦ができるようにしています。夏は水鉄砲で、ネットに貼られた的に当てる活動をしています。コロナ禍においてはピアノを使った音楽活動も行っています。

Ⅲ-⑥奥行のある舞台



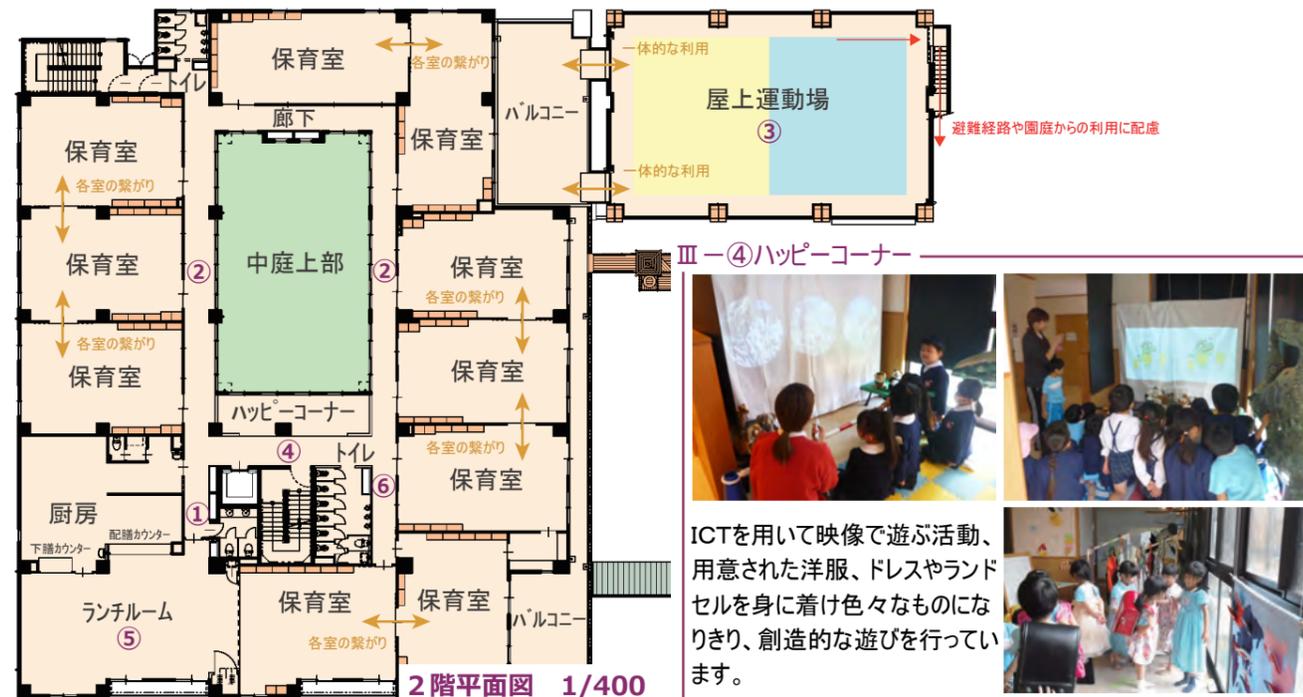
発表会の時、舞台としてだけでなくICTを用いながら活動が展開できるようにしています。舞台裏階段は津波想定避難訓練の際、未満児が独立して登る階段として利用できます。



Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ-⑧多目的に利用できるホール



子どもの体育遊び、発表会、日々の職員会議、教員研修、保護者集会、津波想定避難時の待機場場として利用しています。



ICTを用いて映像で遊ぶ活動、用意された洋服、ドレスやランドセルを身に付けて色々なものになりきり、創造的な遊びを行っています。

Ⅰ-⑤フレキシブルに使えるランチルーム



パーティションを空けることで大広間となり、多くの人達が集える場所です。カウンターを設け自分の給食を運べるようにしています。

Ⅱ-⑥トイレ



見通しの利く場所に配置して、子ども達にとって明るいイメージにして、排泄のイメージを明るい場できるようにしています。

Ⅱ-⑧屋上園庭



アフォーダンスが促されるように床面を楕円形の色合いにすることで走り回れる空間となっています。夏は水遊び、未満児の子どもたちが三輪車で走り回ることもできます。

